

Japanese Patent Laid-open Publication No.: 2002-70418 A

Publication date: March 8, 2002

Applicant : Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.

Title : CATCHING DETECTING APPARATUS AND OPENING AND CLOSING

5 APPARATUS

10

15

20

25

[Scope of Claims for Patent]

[Claim 1] A catching detecting apparatus comprising a first pressure sensing unit that is arranged to be flexible along a shape of a sliding door of a vehicle; a first determining unit that receives a signal from the first pressure sensing unit to determine catching of a material between a body opening of a vehicle and the sliding door; a window opening provided in the sliding door of the vehicle; a window opening and closing unit that opens and closes the window opening; a second pressure sensing unit that is flexibly arranged on at least one of the window opening and closing unit and the window opening; and a second determining unit that receives a signal from the second pressure sensing unit to determine catching of a material in between the window opening and the window opening and closing unit, wherein the first and the second pressure sensing units respectively include first and second piezoelectric sensors with flexibility that generate output signals corresponding to deformations therein.

[Claim 6] The catching detecting apparatus according to any one of claims 1 to 5, further comprising a controller that stops or opens the sliding door or the window opening and closing unit during an opening operation thereof based on 'a catching detecting signal from the determining units.

Next, a catching determining procedure will be [0019] explained below. When a material is caught between the sliding door 1 and the body opening 9, the material 10 contacts with the piezoelectric sensor 7, so that the piezoelectric sensor 7 is deformed by pressing from the material. Fig. 6 is a characteristic diagram of an output signal V of the filtering unit 41, a determination output J of the catching determining unit 42, and an application 15 voltage Vm to the driving unit 33 at a time of the deformation. In Fig. 6, V, J, and Vm are shown on a vertical axis in a descending order, while time t is shown on a horizontal axis. A voltage of +Vd is applied to the motor of the driving unit 33 at time t1 so that the sliding 20 door 1 is driven in the closing direction thereof. When catching occurs, a signal (a signal component larger than a reference potential V0 in Fig. 6) corresponding to acceleration of deformation of the piezoelectric sensor 7 is outputted from the piezoelectric sensor 7 according to 25

piezoelectric effect. When the amplitude V-V0 from V0 on the vertical axis V is equal to or more than D0, the determining unit 42 determines that catching has happened to output pulse signals of Lo→Hi→Lo as a determination output at time t0. When receiving the pulse signals, after the controller 32 stops voltage application of +Vd to the driving unit 33, it applies -Vd to the driving unit 33 for a fixed time period to drive the sliding door 1 in the opening direction, thereby releasing the catching. It can be constituted to issue a warning, when catching is determined. When the catching is released, a signal (a signal component smaller than the reference potential V0 in Fig. 6) corresponding to acceleration at which the deformation restores is outputted from the piezoelectric

5

10

15

sensor 7.

[0020] Whether V becomes larger or smaller than V0 at a time of catching depends on a bending direction or a polarization direction of the piezoelectric sensor 7, allocation of an electrode (a side where the reference potential is set), and the supporting direction of the piezoelectric sensor 7, so that the determination can be made at the determining unit 42 based on the amplitude |V-V0| from V0 on the vertical axis V. In this case, catching determination can be made regardless of the magnitude of V to V0.

- [0021] A similar operation is performed when catching of a material occurs between the window opening 20 and the window glass 21.
- 5 [0027] Since the flexible piezoelectric sensor is arranged flexibly along the shape of the sliding door of the vehicle, and a similar flexible piezoelectric sensor is arranged on the window of the sliding door, catching of a material between the sliding door and the body opening and catching of a material between the window opening of the sliding door and the window glass can be detected according to the operation described above.
- [0032] Furthermore, since the catching detecting

 apparatus based on the piezoelectric sensor and the driving unit that drives the sliding door are provided and the controller that controls the driving unit so as to release the catching based on an output signal from the determining unit when catching is determined is provided so that the

 catching is released when the catching is determined, an opening and closing apparatus that can prevent unnecessary catching can be provided.
- [0038] According to the invention of claim 6, since the controller that stops or opens the sliding door or the

window opening and closing unit during a closing operation thereof according to a catching detecting signal from the determining unit, there is an advantage that unnecessary catching can be prevented because catching is released when catching is determined.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2002-70418

(P2002-70418A)

(43)公開日 平成14年3月8日(2002.3.8)

(51) Int.Cl. ⁷	'	識別記号	FΙ			テーマコ	- -*(参考)
E05F	15/10		E05F	15/10		2	E 0 5 2	
B60J	1/00		B 6 0 J	1/00	(С 3	D127	
	5/06			5/06]	D		٠
G 0 1 L	1/16		G01L	1/16	1	В		
<u>.</u>			審查請求	末 未請求	諸求項の数 6	oL	(全 10	頁)
(21)出願番		特顏2000-263406(P2000-263406)	(71)出願人	-	21 器産業株式会社			
(22)出窗日		亚成12年8月31日(2000 8 31)		大阪府門直市大字門直1006番地				

(72) 発明者 中谷 直史

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

(72)発明者 荻野 弘之

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

(74)代理人 100097445

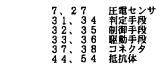
弁理士 岩橋 文雄 (外2名)

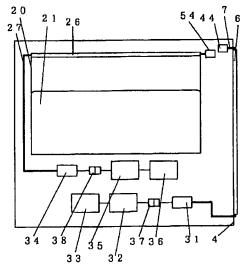
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 挟み込み検出装置及び開閉装置

(57)【要約】

【課題】 スライドドアに付いているの窓にも挟み込み検出装置を効率良く取り付けることのできる構成とする 【解決手段】 車両のスライドドア1の鉛直端部に配設された可撓性を有した第1の圧電センサ7と、第1の圧電センサ7の出力信号を受け取りスライドドア1が閉じたときに生じる物体の挟み込みを判定する第1の判定手段31と、スライドドア1についた窓開口部20窓開閉部21との少なくとも一方に配設され変形に応じた出力信号を発生する可撓性を有した第2の圧電センサ27と、この第2の圧電センサ27の出力信号を受け取り窓 開口部20と窓開閉部21の間への物体の挟み込みを判定する第2の判定手段34を備えることによりスライドドア1および窓20で起こる挟み込みを検知できる。





【特許請求の範囲】

【請求項1】 車両のスライドドアの形状に沿って屈曲可能に配設された第1の感圧部と、この第1の感圧部からの信号を受け取り前記自動車のボディ開口部と前記スライドドアとの間への物体の挟み込みを判定する第1の判定手段と、車両のスライドドアについた窓開口部と、この窓開口部を開閉する窓開閉部と、この窓開閉部と前記窓開口部の少なくとも一方に屈曲可能に配設された第2の感圧部と、この第2の感圧部からの信号を受け取り前記窓開口部と前記窓開閉部の間への物体の挟み込みを判定する第2の判定手段を備え、前記第1および第2の、それぞれの感圧部は変形に応じた出力信号を発生する可撓性を有した第1および第2の圧電センサを内包する挟み込み検出装置。

【請求項2】 第1の圧電センサ及び第2の圧電センサは信号導出用の複数の電極を有し、前記第1の判定手段への接続端とは異なる側の前記第1の圧電センサの端部と前記第2の判定手段への接続端とは異なる側の前記第2の圧電センサの端部において前記信号導出用の同極の電極どうしを接続し、この第1および第2の圧電センサの接続部において前記第1および第2の圧電センサの接続部において前記第1および第2の圧電センサの断線あるいはショートを検出するための電気素子を有する請求項1に記載の挟み込み検出装置。

【請求項3】 車両のスライドドアの形状に沿って屈曲 可能に配設された第1の感圧部と、この第1の感圧部で 検出した信号を受け取り前記自動車のボディ開口部と前 記スライドドアとの間への物体の挟み込みを判定する第 1の判定手段と、車両のスライドドアについた窓開口部 と、この窓開口部を開閉する窓開閉部と、この窓開閉部 と前記窓開口部の少なくとも一方に屈曲可能に配設され た第2の感圧部と、この第2の感圧部で検出した信号を 受け取り前記窓開口部と前記窓開閉部の間への物体の挟 み込みを判定する第2の判定手段を備え、前記第1の感 圧部及び第2の感圧部は変形に応じた信号を発生する可 撓性を有した 1 本の共通の圧電センサを内包しており、 前記第1および第2の判定手段は前記第1および第2の 感圧部で検出した信号を受け取るためのそれぞれの入力 部において前記圧電センサの断線あるいはショート検出 川の電気素子を有した挟み込み検出装置。

【請求項4】 車両のスライドドアの形状に沿って屈曲可能に配設された第1の感圧部と、車両のスライドドアについた窓開口部と、この窓開口部を開閉する窓開閉部と、この窓開閉部と前記窓開口部の少なくとも一方に配設された第2の感圧部と、前記第1の感圧部及び第2の感圧部の出力信号に基づき前記自動車のボディ開口部と前記スライドドアとの間への物体の挟み込み及び前記窓開口部と前記窓開閉部の間への物体の挟み込みを判定する判定手段とを備え、前記第1の感圧部および第2の感圧部は変形に応じた信号を発生する可撓性を有した一本の共通の圧電センサを内包した挟み込み検出装置。

【請求項5】 車両のスライドドアの形状に沿って屈曲可能に配設された第1の感圧部と、車両のスライドドアについた窓開口部と、この窓開口部を開閉する窓開閉部と、この窓開閉部と前記窓開口部の少なくとも一方に配設された第2の感圧部と、前記第1の感圧部の出力信号及び第2の感圧部からの2つの信号を受け取り前記自動車のボディ開口部と前記スライドドアとの間への物体の挟み込みまたは前記窓開口部と前記窓開閉部の間への物体の挟み込みを判定する判定手段とを備え、前記第1右よび第2のそれぞれの感圧部は変形に応じた出力信号を発生する可撓性を有した第1および第2の圧電センサを内包する挟み込み検出装置。

2

【請求項6】 判定手段からの挟み込み検出信号により 閉動作中のスライドドアまたは窓開閉部を停止または開 動作させる制御手段を有した請求項1乃至5のいずれか 1項に記載の挟み込み検出装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、自動車等の車両のボディ開口部とスライドドアとの間への物体の挟み込みを検出する挟み込み検出装置および開閉装置に関するものである。

[0002]

【従来の技術】従来の挟み込み検出装置は、例えば特開平9-264094号公報や特開平11-182136号公報に開示されているものがある。これは自動車のボディ開口部とスライドドアでの挟み込みを検出するために感圧部をスライドドアの閉方向の鉛直端部に配設したもので、感圧部として複数の長尺状の電極を対向させて配設した感圧スイッチを使用していた。そして、ボディ開口部とスライドドアとの間に物体が挟み込まれると、物体の接触による押圧により感圧スイッチの電極同士が接触して感圧スイッチがオンすることにより挟み込みを検出していた。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の 挟み込み検出装置は、スライドドアとボディの開口部と の間に物体を挟み込んだことを検知し、また、スライド ドアについた窓開口部と開閉部の間に物体を挟み込んだ ことを検知するような2つの場所での挟み込みを検出す るような挟み込み検出装置は付いてなかった。

【0004】本発明はこのような従来の課題を解決するものであり、スライドドアに付いているの窓にも挟み込み検出装置を効率良く取り付けることのできる挟み込み検出装置および開閉装置を提供することを目的とする。 【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため に本発明は、車両のスライドドアの形状に沿って屈曲可 能に配設された第1の感圧部と、この第1の感圧部から の信号を受け取り前記自動車のボディ開口部と前記スラ

イドドアとの間への物体の挟み込みを判定する第1の判定手段と、車両のスライドドアについた窓開口部と、この窓開口部を開閉する窓開閉部と、この窓開閉部と前記窓開口部の少なくとも一方に屈曲可能に配設された第2の感圧部と、この第2の感圧部からの信号を受け取り前記窓開口部と前記窓開閉部の間への物体の挟み込みを判定する第2の判定手段を備え、前記第1および第2のそれぞれの感圧部は変形に応じた出力信号を発生する可撓性を有した第1および第2の圧電センサを内包するのでスライドドアとボディ間口部で発生する物体の挟み込みと、スライドドアの窓開口部で発生する物体の挟み込みを検出できる。

[0006]

【発明の実施の形態】上記の課題を解決するために請求 項1の発明は、車両のスライドドアの形状に沿って屈曲 可能に配設された第1の感圧部と、この第1の感圧部か らの信号を受け取り前記自動車のボディ開口部と前記ス ライドドアとの間への物体の挟み込みを判定する第1の 判定手段と、車両のスライドドアについた窓開口部と、 この窓開口部を開閉する窓開閉部と、この窓開閉部と前 記窓開口部の少なくとも一方に屈曲可能に配設された第 2の感圧部と、この第2の感圧部からの信号を受け取り 前記窓開口部と前記窓開閉部の間への物体の挟み込みを 判定する第2の判定手段を備え、前記第1および第2の それぞれの感圧部は変形に応じた出力信号を発生する可 撓性を有した第1および第2の圧電センサを内包するこ とにより、スライドドアとボディ開口部で発生する物体 の挟み込みと、スライドドアの窓開口部で発生する物体 の挟み込みを検出できる。

【0007】また請求項2の発明は、第1の圧電センサ及び第2の圧電センサは信号導出用の複数の電極を有し、前記第1の判定手段への接続端とは異なる側の前記第1の圧電センサの端部と前記第2の判定手段への接続端とは異なる側の前記第2の圧電センサの端部において前記信号導出用の同極の電極どうしを接続し、この第1および第2の圧電センサの接続部において前記第1および第2の圧電センサの勝線あるいはショートを検出するための電気素子を有することにより、圧電センサの断線やショートなどの故障検出が容易にできる。

【0008】また請求項3の発明は、車両のスライドドアの形状に沿って屈曲可能に配設された第1の感圧部と、この第1の感圧部で検出した信号を受け取り前記自動車のボディ開口部と前記スライドドアとの間への物体の挟み込みを判定する第1の判定手段と、車両のスライドドアについた窓間口部と、この窓間口部を開閉する窓開閉部と、この窓開閉部と前記窓開口部の少なくとも一方に屈曲可能に配設された第2の感圧部と、この第2の感圧部で検出した信号を受け取り前記窓開口部と前記窓開閉部の凹への物体の挟み込みを判定する第2の判定手段を備え、前記第1の感圧部及び第2の感圧部は変形に

応じた信号を発生する可撓性を有した1本の共通の圧電センサを内包しており、前記第1および第2の判定手段は前配第1および第2の感圧部で検出した信号を受け取るためのそれぞれの入力部において前記圧電センサの断線あるいはショート検出用の電気素子を有したことにより、圧電センサの断線やショートなどの故障検出が容易にできる。

【0009】また請求項4の発明は、車両のスライドドアの形状に沿って屈曲可能に配設された第1の感圧部と、車両のスライドドアについた窓開口部と、この窓開団部を開閉する窓開閉部と、この窓開閉部と前記窓開口部の少なくとも一方に配設された第2の感圧部と、前記第1の感圧部及び第2の感圧部の出力信号に基づき前記自動車のボディ開口部と前記スライドドアとの間への物体の挟み込み及び前記窓開口部と前記窓開閉部の間への物体の挟み込みを判定する判定手段とを備え、前記第1の感圧部および第2の感圧部は変形に応じた信号を発生する可撓性を有した一本の共通の圧電センサを内包したことにより、判定手段が一つで済み、また、圧電センサを判定手段に接続するのは1カ所で良く、1本の圧電センサを有効に効率良く配設できる。

【0010】また請求項5の発明は、車両のスライドドアの形状に沿って風曲可能に配設された第1の感圧部と、車両のスライドドアについた窓開口部と、この窓開団部を開閉する窓開閉部と、この窓開閉部と前記窓開口部の少なくとも一方に配設された第2の感圧部と、前記第1の感圧部の出力信号及び第2の感圧部からの2つの信号を受け取り前記自動車のボディ開口部と前記スライドドアとの間への物体の挟み込みまたは前記窓開口部と前記窓開閉部の間への物体の挟み込みを判定する判定手段とを備え、前記第1および第2のそれぞれの感圧部は変形に応じた出力信号を発生する可撓性を有した第1および第2の圧電センサを内包するので判定手段が一つで済み、また、2本の圧電センサを別々に配設できるので圧電センサの引き回しが簡単である。

【0011】また請求項6の発明は、判定手段からの挟み込み検出信号により閉動作中のスライドドアまたは窓開閉部を停止または開動作させる制御手段を有したので不要な挟み込みを防止することができる。

0 [0012]

【実施例】以下、本発明の一実施例について図を参照して説明する。

【0013】図1は実施例1の発明の挟み込み検出装置及び開閉装置の外観図で、自動車のスライドドアに適用した場合を示している。図2は図1のA-A、線位置における断面構成図である。先ず、本発明の実施例1の挟み込み検出装置の構成は以下の通りである。図1及び図2より、1はスライドドア、4はスライドドア1の鉛直端部、6は感圧部、9はスライドドア1が開口して乗員が出入りするためのボディ開口部である。10は感圧部

6をスライドドア1に固定するための固定部、11は自 動車の側面側ボディ、12はスライドドア1が閉止した 際にボディ開口部9及びボディ11とスライドドア1と の間をシールするシール部である。感圧部6はスライド ドア1が完全に閉止した際にボディ11と接触しないよ うボディとの間に所定の距離をおいて固定部10に固定 されている。子供の指等の挟み込みを考慮するとこの距

離は3mm~5mmとすることが好ましい。図1の20はス ライドドア1に付けられた窓開口部であり、21は窓開 口部20を開閉する開閉部となる窓ガラスである。26 は窓開口部上部枠に取り付けられた感圧部である。

、【0014】図3は感圧部6および26の構成図であ る。図3より、感圧部6および26はゴム弾性体16の 中に圧電センサー7を内包している。圧電センサー7 は、圧電材としての複合圧電体層13と、複合圧電体層 13を挟む電極としての中心電板14及び外側電極15 とを同心円状に積層して成形した同軸ケーブル状の構成 を備えており、全体として可撓性に優れた構成を有して いる。19はゴム弾性体16を図2における固定部10 と勘合させて固定するための勘合溝である。

【0015】図4はスライドドア1を車内側から見た図 で、感圧部6および26と圧電センサー7および27の 配設状態を示したものである。図4において31はスラ イドドア1の鉛直端部4に取り付けられた圧電センサ7 の信号を受け取り挟み込みを検出するための第1の判定 手段である。32は第1の判定手段31の出力信号に基 づき第1の駆動手段33を制御する第1の制御手段であ る。第1の駆動手段33はスライドドア1を電動で開閉 させるためのモータとベルトあるいはギヤなどによる動 力伝達機構からなっている。3.7は第1の判定手段31 の判定出力信号を第1の制御手段32に接続するための コネクタである。34はスライドドア1の窓間口部20 に取り付けられた圧電センサ27の信号を受け取り挟み 込みを検出するための第2の判定手段である。35は第 2の判定手段34の出力信号に基づき第2の駆動手段3 6を制御する第2の制御手段である。第2の駆動手段3 3は窓ガラス21を電動で開閉させるためのモータとワ イヤあるいはギヤなどによる動力伝達機構からなってい る。38は第2の判定手段34の判定出力信号を第2の 制御手段35に接続するためのコネクタである。

【0016】図5は本発明第1の実施例の第1および第 2の判定手段の回路構成図である。図5より、44(5 4) は電気素子として抵抗体を用いている。46は断線 またはショート検出用の第2の抵抗体、41は第1の圧 電センサ7または第2の圧電センサ27からの出力信号 から所定の周波数成分のみを通過させる濾波部、42は 遊波部41からの出力信号に基づき挟み込みを判定する 判定部、43は抵抗体44(54)と第2の抵抗体41 により形成される電圧値から第1の圧電センサ7または 第2の圧電センサ27の断線またはショート異常を判定

する異常判定部、47は自動車のバッテリー等からなる 電源である。 濾波部 4 1 は第1の圧電センサ7または第 2の圧電センサ27の出力信号から自動車の車体の振動 等に起因する不要な信号を除去し、物体の挟み込みに特 有な周波数成分を有した信号を抽出するような濾波特性 を有する。

遗波特性の決定には自動車の車体の振動特性 等を考慮して最適化すればよい。具体的には、自動車の エンジンや走行による振動を除去するため約10Hz以 下の信号成分を抽出するローパスフィルタとすることが 望ましい。

【0017】次に作用について説明する。図1に示した ように、本実施例1ではスライドドア1とボディ開口部 9との間への物体の挟み込みを検出するために、可撓性 の圧電センサ7をスライドドア1の形状に沿って屈曲可 能に配設することができる。可撓性の圧電センサ7を使 用しているため、スライドドア1に湾曲部があっても従 来のように湾曲部で感圧スイッチが接触して誤検出が生 じてしまうといっさたことがない。また、スライドドア 1にドアロック機構や開閉検出用電極等の付属部品が設 置されていても、圧電センサ7を屈曲させてこれらの付 属部品を避けて配設することができる。従って付属部品 の設置位置にも制約が無い。

【0018】また、圧電センサの最小曲率が半径5mmで あることから、最小曲率半径5mmまでのスライドドア1 の鉛直端部4が湾曲していたとしても、この湾曲部に対 して配設可能となる。従って、スライドドア1の剛性の 強化やデザイン面での自由度が向上する。

【0019】次に挟み込みの判定手順について以下に説 明する。スライドドア1とボディ開口部9との間に物体 が挟み込まれると物体が圧電センサ7と接触し、物体の 押圧により圧電センサ7が変形する。図6はこの際の遊 波部41の出力信号V、挟み込み判定部42の判定出力 J、駆動手段33への印加電圧Vmを示す特性図であ る。図6において、縦軸は上から順にV、J、Vm、横 軸は時刻 t である。時刻 t 1 で駆動手段33のモータに **+ V d の電圧を印加してスライドドア 1 を閉止方向に駆** 動させる。挟み込みが起こると圧電センサ7からは圧電 効果により圧電センサイの変形の加速度に応じた信号 (図6の基準電位VOより大きな信号成分) が出力され

40 る。判定部 4 2 は V の V O からの振幅 V - V O が D O 以 上ならば挟み込みが生じたと判定し、時刻 t O で判定出 力としてLo→Hi→Loのバルス信号を出力する。制 御手段32ではこのパルス信号があると駆動手段33へ の+Vdの電圧印加を停止した後、-Vdの電圧を一定 時間印加してスライドドア1を開方向へ駆動させ、挟み 込みを解除する。挟み込みが判定されると警報を発生す る構成としてもよい。尚、挟み込みを解除する際、圧電 センサ7からは変形が復元する加速度に応じた信号(図 6の基準電位 V O より小さな信号成分)が出力される。 【0020】尚、挟み込みの際、VがV0より大となる

か小となるかは、圧電センサ7の屈曲方向や分極方向、電極の割付け(どちらを基準電位とするか)、圧電センサ7の支持方向により変わるため、判定部42でVのV0からの振幅 | V - V0 | に基づき挟み込みを判定する構成としてもよく、VのV0に対する大小によらず挟み込みを判定することができる。

【0021】窓開口部20と窓ガラス21の間に生じる物体の挟み込みの場合も同様の動作である。

【0022】次に、異常判定部43での断線判定の手順 を以下に示す。図5において、抵抗体46と抵抗体44 (54)の抵抗値をそれぞれR1、R2とし、P点の電 、圧をVp、電源47の電圧をVsとする。R1、R2は **通常数メグオーム~数十メグオームの抵抗値が用いられ** る。圧電センサ7または27の電極が正常の場合、Vp はVsに対して、R1とR2との分圧値となる。ここ で、複合圧電体層13の抵抗値は通常数百メグオーム以 上であるのでRIとR2の抵抗値にはほとんど寄与しな いため上記分圧値の算出には無視するものとする。圧電 センサ7または27の電極が断線すると等価的にはPa 点またはPb点がオープンとなるので、VpはR1で電 源47の正電極に接続されているためVsとなる。電極 がショートすると等価的にはPa点とPb点がショート することになるので、VpはほぼOボルトに等しくな る。このように異常判定部43でVpの値に基づいて圧 電センサ7または27の電極の断線やショートといった 異常を検出するので、信頼性を向上することができる。 尚、抵抗体44(54)は他に電気素子としてコンデン サやインダクタあるいはこれら電気素子の複合体であっ ても良い。特に電源47を交流あるいは高周波電源とし た場合には抵抗体 4 4 (5 4) の代わりにインダクタを 30 使うことも可能である。

【0023】また、第1の圧電センサ7の先端に付く抵抗体5 抗体44と第2の圧電センサ27の先端に付く抵抗体5 4は共通にでき、図7に示すように抵抗体51で第1の 圧電センサ7と第2の圧電センサ27のための断線また はショート検出川の抵抗体とすることもできる。

【0024】また、第1の圧電センサ7と第2の圧電センサ27を別々の圧電センサで構成するのではなく、図8に示すように1本の圧電センサ55を延ばして窓間口部20とスライドドア鉛直端部4に配設することもでき40る。この場合、一方の判定手段は図5に示す構成で良いが、他方の判定手段は図9に示すように抵抗値R3を持つ抵抗体56をP点とPb点間に接続する。このとき、圧電センサ55の電極が正常ならば、VpはVsに対して、一方の判定手段31(34)である図5のR1と他方の判定手段34(31)である図9のR3との分圧値になる。圧電センサ55の電極が断線すると等価的にはPa点またはPb点がオープンとなるので、一方の判定手段31(34)のVpはR1で電源47の正電極に接続されているためVsとなり、他方の判定手段34(350

1) のV pは、R 3 で電源 4 7 の負電極に接続されているため、ほぼ0ボルトに等しくなる。電極がショートすると等価的にはP a 点とP b 点がショートすることになるので、どちらの判定手段 3 1 (3 4) のV p もほぼ0 ボルトに等しくなる。

【0025】また、図10に示すように1つの判定手段62で窓開口部20とスライドドア1の鉛直端部4に配設された圧電センサ55の信号を受け取るようにしても良い。66は断線、ショートの異常検知のための抵抗体である。この場合、1本の共通の圧電センサと、1つの判定手段により、圧電センサを判定手段に接続するのは1カ所で良く、1本の圧電センサを有効に効率良く配設できる。

【0026】また、図11に示すようにスライドドア1の鉛直端部4に配設された圧電センサ7と窓開口部20に配設された圧電センサ27の2つの信号を1つの判定手段64で受け取るようにしても良い。この場合、判定手段が一つで済み、また、2本の圧電センサを別々に配設できるので圧電センサの引き回しが簡単である。

【0027】上記した作用により、可撓性の圧電センサを車両のスライドドアの形状に沿って屈曲可能に配設され、さらにスライドドアの窓にも同様の可撓性の圧電センサが配設されているので、スライドドアどボディ開口部との間の物体の挟み込みと、スライドドアの窓開口部と窓ガラスとの間での物体の挟み込みを検出できる。

【0028】また、圧電センサが信号導出用の複数の電極と、前記電極間に接続された断線検出用の抵抗体とを有しており、断線検出用の抵抗体により圧電センサの電極の断線を検出できるので、装置の信頼性が向上する。

【0029】また、1本の共通の圧電センサでもスライドドアどボディ開口部との間の物体の挟み込みと、スライドドアの窓開口部と窓ガラスとの間での物体の挟み込みを検出できるとともに、圧電センサの断線あるいはショート検出用の電気素子を有したことにより、圧電センサの断線やショートなどの故障検出が容易にできる。

【0030】また、1本の共通の圧電センサと、1つの 判定手段にすると、圧電センサを判定手段に接続するの・ は1カ所で良く、1本の圧電センサを有効に効率良く配 設できる。

【0031】また、第1の圧電センサの出力信号及び第. 2の圧電センサの出力信号の2つを1つの判定手段で受け取とれば、自動車のボディ開口部と前記スライドドア. との間への物体の挟み込みまたは前記窓開口部と前記窓 開閉部の間への物体の挟み込みの判定ができ、判定手段が一つで済み、また、2本の圧電センサを別々に配設できるので圧電センサの引き回しが簡単である。

【0032】さらに、圧電センサによる挟み込み検出装置とスライドドアを駆動する駆動手段とを備え、判定手段の出力信号に基づき挟み込み判定時には挟み込みを解除するよう前記駆動手段を制御する制御手段を有してお

り、挟み込み判定時には挟み込みを解除するので、不要 な挟み込みを防止する開閉装置を提供することができ る。

[0033]

【発明の効果】上記実施例から明らかなように、請求項 1の発明によれば、車両のスライドドアの形状に沿って 屈曲可能に配設された第1の感圧部と、この第1の感圧 部からの信号を受け取り前記自動車のボディ開口部と前 記スライドドアとの間への物体の挟み込みを判定する第 1の判定手段と、車両のスライドドアについた窓開口部 と、この窓開口部を開閉する窓開閉部と、この窓開閉部 、と前記窓開口部の少なくとも一方に屈曲可能に配設され た第2の感圧部と、この第2の感圧部からの信号を受け 取り前記窓開口部と前記窓開閉部の間への物体の挟み込 みを判定する第2の判定手段を備え、前記第1および第 2のそれぞれの感圧部は変形に応じた出力信号を発生す る可撓性を有した第1および第2の圧電センサを内包す るのでスライドドアとボディ開口部で発生する物体の挟 み込みと、スライドドアの窓開口部で発生する物体の挟 み込みを検出できるといった効果がある。

【0034】また請求項2の発明によれば、第1の圧電センサ及び第2の圧電センサは信号導出用の複数の電極を有し、前記第1の判定手段への接続端とは異なる側の前記第1の圧電センサの端部と前記第2の判定手段への接続端とは異なる側の前記第2の圧電センサの端部において前記信号導出用の同極の電極どうしを接続し、この第1および第2の圧電センサの接続部において前記第1および第2の圧電センサの断線あるいはショートを検出するための電気素子を有したことにより、圧電センサの断線やショートなどの故障検出が容易にできるといった 30 効果がある。

【0035】また請求項3の発明によれば、車両のスラ イドドアの形状に沿って屈曲可能に配設された第1の感 圧部と、この第1の感圧部で検出した信号を受け取り前 記自動車のボディ開口部と前記スライドドアとの間への 物体の挟み込みを判定する第1の判定手段と、車両のス ライドドアについた窓開口部と、この窓開口部を開閉す る窓開閉部と、この窓開閉部と前記窓開口部の少なくと も一方に屈曲可能に配設された第2の感圧部と、この第 2の感圧部で検出した信号を受け取り前記窓開口部と前 記窓開閉部の間への物体の挟み込みを判定する第2の判 定手段を備え、前記第1の感圧部及び第2の感圧部は変 形に応じた信号を発生する可撓性を有した1本の共通の 圧電センサを内包しており、前記第1および第2の判定 手段は前記第1および第2の感圧部で検出した信号を受 け取るためのそれぞれの入力部において前記圧電センサ の断線あるいはショート検出用の電気素子を有したこと により圧電センサの断線やショートなどの故障検出が容 易にできるといった効果がある。

【0036】また請求項4の発明によれば、車両のスラ

イドドアの形状に沿って屈曲可能に配設された第1の感圧部と、車両のスライドドアについた窓開口部と、この窓開口部を開口部を、この窓開閉部と、この窓開閉部と前記窓開口部の少なくとも一方に配設された第2の感圧部と、前記第1の感圧部及び第2の感圧部の出力信号に基づら前記自動車のボディ開口部と前記スライドドアとの間への物体の挟み込み及び前記窓開口部と前記窓開閉部の間への物体の挟み込みを判定する判定手段とを備え、前記第1の感圧部および第2の感圧部は変形に応じた信号を発生する可撓性を有した一本の共通の圧電センサを外包するので、判定手段が一つで済み、また、圧電センサを判定手段に接続するのは1カ所で良く、1本の圧電センサを有効に効率良く配設できるといった効果がある。

【0037】また請求項5発明によれば、車両のスライドドアの形状に沿って屈曲可能に配設された第1の感圧部と、車両のスライドドアについた窓開口部と、この窓開閉部と、この窓開閉部と前記窓開口部の少なくとも一方に配設された第2の感圧部と、前記第1の感圧部の出力信号及び第2の感圧部からの2つの信号を受け取り前記自動車のボディ開口部と前記スライドアとの間への物体の挟み込みまたは前記窓開口部と前記窓開閉部の間への物体の挟み込みを判定する判定手段とを備え、前記第1および第2のそれぞれの感圧部は変形に応じた出力信号を発生する可撓性を有した第1および第2の圧電センサを内包するので、判定手段が一つで済み、また、2本の圧電センサを別々に配設できるので圧電センサの引き回しが簡単であるといった効果がある

【0038】また請求項6発明によれば、判定手段からの挟み込み検出信号により閉動作中のスライドドアまたは窓開閉部を停止または開動作させる制御手段を有したもので、挟み込み判定時には挟み込みを解除するので不要な挟み込みを防止することができるといった効果がある

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の発明の挟み込み検出装置及 び開閉装置の外観図

- 【図2】図1のA-A′線位置における断面構成図
- 【図3】同装置の感圧部の構成図
- 【図4】同装置の挟み込み検出装置の配設構成図
- 【図5】同装置の挟み込み検出装置の判定手段の回路構成図

【図6】同装置の濾液部からの出力信号 V、挟み込み判定部の判定出力 J、モータへの印加電圧 V mを示す特性図

【図7】同装置の挟み込み検出装置の2本の圧電センサ を直列接続したときの配設構成図

【図8】同装置の挟み込み検出装置の1本の圧電センサのみで配散したときの配設構成図

【図9】同装置の挟み込み検出装置の判定手段の第2の

回路構成図

【図10】同装置の挟み込み検出装置の1本の圧電セン サのみで配設し1つの判定手段で受ける場合の配設構成。

【図11】同装置の挟み込み検出装置の2本の圧電セン サの信号を1つの判定手段で受ける場合の配設構成図 【符号の説明】

- 1 スライドドア
- 4 鉛直端部
- 6、26 圧電センサ内蔵のゴム弾性体
- 7、27、55 圧電センサ
- 、 5 5 1 、 9 ボディ開口部

11 ボディ

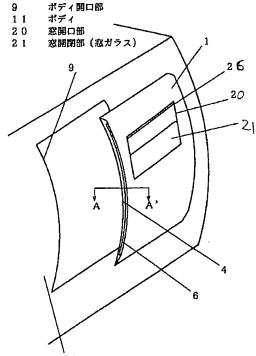
- 13 複合圧電体層
- 14 中心電極(電極)
- 15 外側電極(電極)
- 16 ゴム弾性体
- 19 助合消
- 31、34、62、64 判定手段
- 44、46、51、54、56、66 抵抗体(電気素 子)

12

- 10 33、36 駆動手段
 - 32、35 制御手段

【図1】

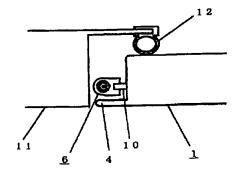
- 1 スライドドア
- 鉛直端部 4
- 6、26 圧電センサ内蔵のゴム弾性体
- (感圧部)



【図2】

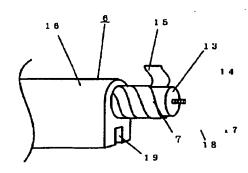
10 固定部

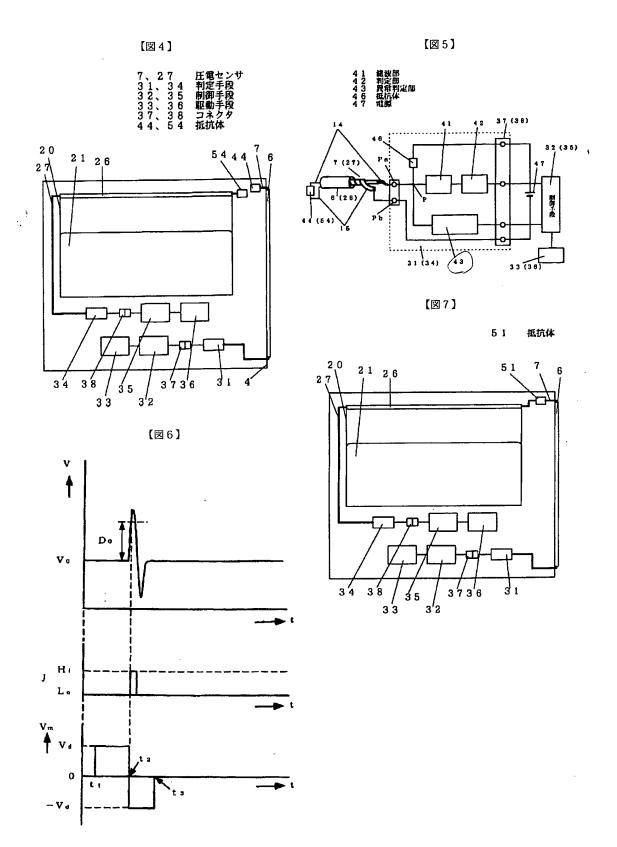
12 シール部



【図3】

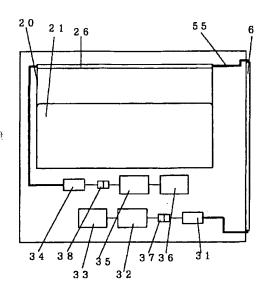
- 圧電センサ 複合圧電体層
- 中心電極 外側電極
- 15
- ゴム弾性体
- 勘合海



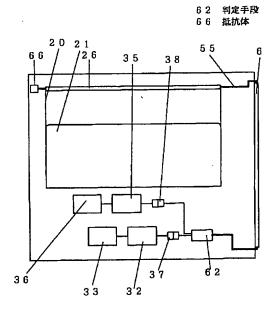


【図8】

5 5 圧電センサ

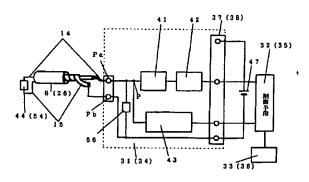


【図10】



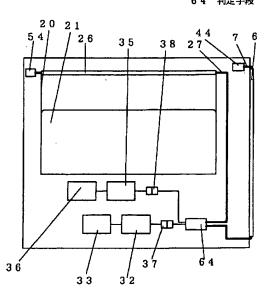
【図9】

56 低抗体



【図11】

64 判定手段



フロントページの続き

(72)発明者 吉野 浩二

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器 産業株式会社内

(72) 発明者 長井 彪

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器 産業株式会社内

(72)発明者 金澤 成寿

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

企業株式会社内

(72)発明者 伊藤 雅彦

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

(72) 発明者 藤井 優子

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

Fターム(参考) 2E052 AA09 CA06 DA03 DA04 DA08

DB03 DB04 DB08 EA14 EA16

EB01 EC02 GA08 GB00 GB06

GC06 GD03 GD09 HA01 KA13

KA15 KA27

3D127 AA02 CB05 DF04